

社会福祉法人第2条 第2項	第1号	生活保護法に規定する 救護施設	救護施設 泉の園 松江市矢田町 472 TEL.0852-24-3512 / FAX.0852-27-6987
	第3号	老人福祉法に規定する 特老、経費老人ホーム	特別養護老人ホーム 詔光の里 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-4165 / FAX.0852-27-6982 経費老人ホームケアハウス 夢楽の郷 松江市山代町 933-9 TEL.0852-31-9036 / FAX.0852-31-9038
	第4号	障害者総合支援法に 規定する障害者支援 施設	障がい者支援施設 希望の園 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-0791 / FAX.0852-21-2829 障がい者支援施設 光洋の里 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5400 / FAX.0859-45-5411
社会福祉法第2条 第3項	第2号	児童福祉法に規定する 保育所	児童福祉施設 しらゆり保育園 松江市大庭町 135-1 TEL.0852-22-3803 / FAX.0852-60-7132
			児童福祉施設 しらゆり第2保育園 松江市西持田町 336-5 TEL.0852-23-3340 / FAX.0852-60-7131
			児童福祉施設 しらゆり第3保育園 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-26-2356 / FAX.0852-60-7130
			児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園 松江市北田町 188-3 TEL.0852-21-3440 / FAX.0852-60-7135
	第4号	老人福祉法に規定する 事業	老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねぎらい 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3328 / FAX.0852-27-6982
			老人デイサービス事業 きらめき 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3370 / FAX.0852-27-6982
	第4の2号	障害者総合支援法に 規定する障害福祉 サービス事業	就労継続支援A型事業 ワークセンター島根 松江市矢田町 250-110 TEL.0852-22-4105 / FAX.0852-31-1167
			生活介護事業 さざなみ 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5407 / FAX.0859-45-1107
			共同生活援助事業 互助の館 松江市東津田町 1324-1 TEL.0852-67-3500 / FAX.0852-67-3500 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-31-8313 / FAX.0852-31-8313
			相談支援事業所 ねくすと 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-5080 / FAX.0852-21-2829
社会福祉法 第26条 第1項	施行令 第4条	介護保険法に規定する 居宅介護支援事業他	居宅介護支援事業所 ナイス 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3288 / FAX.0852-27-6982
			訪問看護ステーション 暖心 松江市山代町 934-5 TEL.0852-28-0906 / FAX.0852-27-6982



表紙写真

絶景のロケーションに囲まれた「光洋の里」。今は、何時でも何処でも必需品のマスク……。マスクを外して気持ちよく生活できる日常が、一日でも早く来ることを願って……。

編集後記

「有難う」「有難う」。
外出後(制限付き)に、また豪華な出前を取られた後に、ご利用者が施設長の所に来られ、そう言われます。コロナ禍での厳しい制限下での生活は懸命に生きる私達の心のバランスを崩しかねません。その様な中で繰り返される「有難う」は聞いていて、とても心地よい響きで伝わってきます。「有難う」の対義語は「当たり前」。「有難う」とは有難い、稀、奇跡の意。コロナ禍で多くの「当たり前」が「当たり前」では無くなってしまいました。大切な家族とも会えないのですから……。大きな制限の中でも工夫を凝らし、創造し、1つでも多くの「有難う」に出会えば、私達職員は幸せです。最後になりましたが、発刊に際しまして、お忙しい中ご寄稿頂きました皆様方には心から御礼申し上げます。「有難うございました」。

しらゆり

shirayuri
第 37 号
2021.8 August



就職活動中の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で就職活動が困難な方々に向けて、オンライン上でガイダンス、面接を行える環境を整えました。ぜひご利用ください。

contents

2 理事長挨拶

しらゆり第 37 号 発刊によせて

3 法人基本方針

令和 3 年度運営方針
しらゆり会役員等名簿

4 新施設長就任のご挨拶 永年勤続者表彰

5 新規採用職員紹介

6 令和 2 年度寄付・寄贈 施設整備事業 入札結果 苦情処理状況

7 令和 2 年度決算報告

8 施設活動報告

- 救護施設 泉の園
- 障がい者支援施設 希望の園
- 相談支援事業所 ねくすと
- 共同生活援助事業 互助の館
- 障害福祉サービス事業 ワークセンター島根
- 障がい者支援施設 光洋の里
- 生活介護事業 さざなみ
- 軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷
- 特別養護老人ホーム 詔光の里
- 老人デイサービス事業 きらめき
- 老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねぎらい
- 訪問看護ステーション 暖心
- 居宅介護支援事業所 ナイス
- 児童福祉施設 しらゆり保育園
- 児童福祉施設 しらゆり第 2 保育園
- 児童福祉施設 しらゆり第 3 保育園
- 児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園

23 國頭正巳初代理事を偲んで



例年より早い5月の梅雨入りとなり、また暑さも増し、マスクを付けたままでの生活は息苦しさが一段と厳しく感じられます。皆様も新型コロナウイルス対策のためいろいろなことを我慢しながら、少しでも快適な環境を考えながら、日々を工夫し生活しておられることと思います。そして、新型コロナウイルスの接種も拡大してきております。

社会福祉施設事業所では新型コロナウイルスの猛威により、施設の職員及び利用者の皆様の安全な対応を前提としているため、昨年より、面会であったり、地域との交流もままならない状況が続いております。感染防止が大前提にあることは、密になる対応が避けられない福祉施設での感染によるクラスター化は起こしてはならない状態にあることで

しらゆり第37号

発刊によせて

す。障がい特性や生活の場であるため、医療がひつ迫状態になれば、感染者を入院させられないことに繋がります。福祉施設では隔離や拘束はできないため、より感染しやすい環境となります。リモート介護など今の段階では出来るわけではありません。よって、常に警戒状態に置かれることとなります。このような状態は我々福祉界だけでなく、医療・飲食業をはじめ多くの事業体の皆様が同じ状況下にあると思います。誰もがコロナワクチン接種が進み、少しでも良い環境に近づけたらと思いますが、次々と生まれる変種のコロナウイルスがどのように影響するか見通せない状況は今後も続くのですが、少しでも早く安心できる日々が来ることをすべての方が待ち望んでいることと思います。

社会福祉法人 しらゆり会

理事長

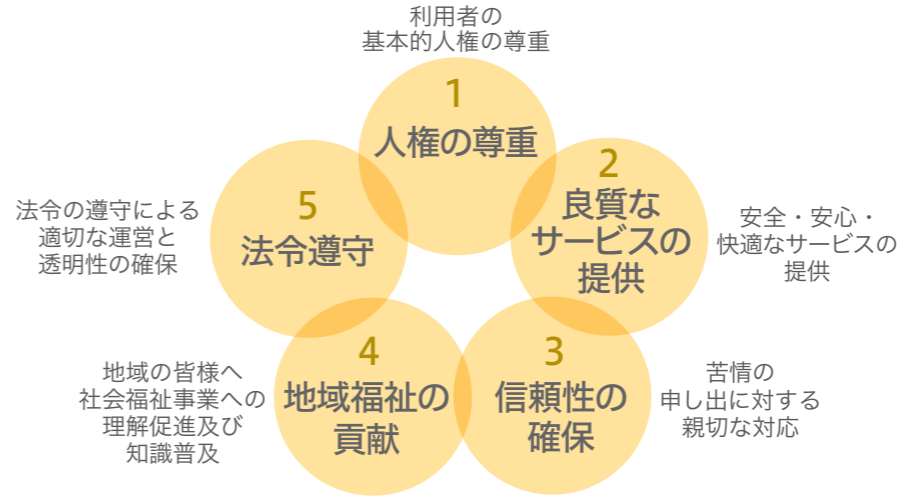
國頭正治

そして、コロナ禍後の世の中の動きは今までと違い、同じようなパンデミックが起きた時のための変化を回避する動きと、元のままの価値観で進む動きと二分化していくと思います。どちらが正しいかは、世界の変化に敏感に対応することに加速していく中で結果が見えてくることでしょう。福祉施設の在り方も同じように様変わりしていく必要があります。継続することを考えながら取捨選択を繰り返し、耐え続け、一人ひとりの命を守るためお互いを思いやる気持ちを忘れず、日々努力を重ねてまいります。

そのためにも、今後とも地域と共に歩むしらゆり会にご支援賜りますようお願い申し上げます。

法人の基本方針

社会福祉法人しらゆり会は、利用者の皆様へ、そして地域福祉充実のため次の5つの目標を掲げ、しらゆり会の施設やサービスを利用して良かったと言っているように、役職員一丸となって利用者の方々の皆様のサービス提供に努めます。



重点目標

いまだ収束の兆しが見えない新型コロナウイルスの感染拡大、毎年のように発生する自然災害など、私たちは日々、未曾有の脅威にさらされている。法人としては、困難な事態に備えて、持続可能な経営戦略を組み立てておくことが必須となっている。どのような状況にあっても、しらゆり会が地域におけるセーフティネットとしての役割を担い続けるために、これまでの社会福祉法人をめぐる動向を振り返り、今後の法人経営のあり方について考え、必要とされる法人運営を目指していく。

一、ウィズコロナ時代の事業運営についての検討

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、これまでの日常を根底から覆した。収束に向けた社会の動向を注視しながら、今後感染リスクに応じた柔軟な感染対策やサービス提供の工夫、人材確保等の課題に継続して取り組み、「新しい生活様式」に応じた事業運営のあり方を模索していく。

二、各事業における経営状態の維持・改善

福祉業界では、社会保障費の抑制による経営悪化や人手不足、同業者同士の競争激化などにより、多くの事業所が厳しい経営状態にある。当法人においても、事業の安定的・継続的な経営を図っていくため、しっかりと現状を分析し将来を見据えた着実な取り組みを進めていく必要がある。現場の意識改革やサービスの質向上を進めるため、本部機能の強化を図っていく。

三、福祉人材の確保

島根・鳥取両県においても福祉サービスのニーズの増大、高度化、複雑化が一層進んでいるが、一方で若年労働者の減少が進み、人材難の状況は続いている。当法人においても、社会福祉従事者を相当数確保していくことが必要であり、地域の理解を求め、いくとも魅力ある職場作りを積極的に進め、人材の確保に努めていく。

四、泉の園移転計画

今年11月の園舎完成を目指して、補助金に係る市との手続き、工事の安全性確保など、課題を整理しながら関係機関とも連携を密に取り、適切に準備を進めていく。加えて、事業開始に向けて、救護施設に求められる役割について検討を重ね、必要な支援体制などの環境を整えていく。

しらゆり会役員等名簿

令和3年定時評議員会終結の時から令和5年定時評議員会終結の時まで		令和3年定時評議員会終結の時から令和7年定時評議員会終結の時まで	
氏名	現在の職業及び公職	氏名	現在の職業及び公職
国頭 正治	理事長 泉の園施設長	国頭 正久	統括事務局事務局長 しらゆり第3保育園施設長
小林 良二	社会保険労務士	須谷 留	(元松江市民生児童委員 協議会事務局局長)
宮廻 洋子	(元本会施設長)	若槻 明彦	栄徳商事(株)代表取締役社長
河内 大輔	松江市議会議員 (株)TReX取締役	廣瀬 芳徳	(元栄徳商事(株)代表取締役) 松江市立病院 医療ソーシャルワーカー
出雲あかり		三島 進	松江市議会議員 (元三島運輸役員)
		瀬崎 淳一	(有)ベリッシュヨップ 代表取締役専務
		山本 寿子	(元松徳学院高校非常勤講師)
		上田 恭己	松江栄養調理製菓専門学校 校長
		石田 正美	希望の園保護者会会長
		花田 範久	(株)山陰中央新報社 キャリアスタッフ
		中島 修	(元社会福祉事業団職員) (元本会施設長)
		竹田 純子	(元株島根銀行 総合企画グループ審議役)
		小林 洋一	

しらゆり第2保育園 施設長 就任にあたり



しらゆり第2保育園 施設長 田中純子

この4月、しらゆり第2保育園の施設長に就任致しました田中と申します。
平成十一年松江市で初めての民

間移譲となったしらゆり千鳥保育園からご縁あつてしらゆり会に勤務させていただきましたことになり、22年経ちました。この間、理事長先生をはじめ諸先輩園長先生方にご指導いただきながら、また同僚や先輩の支えもあり今日を迎え、施設長の責務の重さを感じると共に身の引き締まる思いです。
日々、子どもたちの愛らしい笑顔や元気いっぱいの声、子どもならではの発想の豊かさに驚いたり、感心したりの毎日です。そんな子どもたちの姿や親子のエピソードなどを職員と共有することや、保護者の方との何気ない会話

が元気の源になっています。乳幼児の命を守り、命を育み、その成長を支えながら子どもたちの幸せに寄与することが保育園の最大の使命であります。その上で、現在保育園に求められる役割として「児童福祉を担う」「幼児教育を担う」「子育て支援を担う」ということまた、法人の理念を念頭に、子どもたちにとって楽しい保育園であり、保護者の方に信頼され、地域の方に愛される保育園を目指し、職員と共に日々研鑽を重ね、努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

訪問看護ステーション暖心 所長 就任にあたり



訪問看護ステーション暖心 所長 足立恵子

この度、所長に就任致しました足立恵子と申します。

総合病院の外来に勤務していた時、「あなた、訪問看護にむいてるわ。うちに来ない。」と石原所長に声をかけて頂き、暖心に勤務して17年になりました。子供達は巣立っていきそれぞれの人生を歩み、義父、実父は大好きな家で暮らし家族に見守られながら旅だっけいきました。子育て、介護が重なり大変な時もありましたが、家

族、ヘルパーさん、友人等多くの人に支えて頂き感謝と大切な日々です。今年度、新メンバー参加、新体制となりました。利用者様、ご家族様が安心してご自宅で過ごしていただけるよう地域包括ケアチームの一員を担う事が出来るよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

永年勤続者表彰

今年度は勤続20年の表彰者は3名、10年の表彰者は8名となりました。

永年勤続者20年

施設名	職名	氏名
しらゆり保育園	調理員	近重マリ子
きらめき	主任	日野 靖宏
ナイス	介護支援専門員	石倉由美子

永年勤続者10年

施設名	職名	氏名
希望の園	主任	松田 千里
希望の園	介護職員	梶谷 亮輔
希望の園	支援員	赤山 伸広
詔光の里	介護職員	伊藤 佑輔
詔光の里	介護職員	米山 雄大
詔光の里	機能訓練士	山田 朋子
ねぎらい	訪問介護員	津森 美沙
しらゆり第2保育園	保育士	錦織 将人

施設の活動報告

コロナ禍の中でも工夫をこらして様々な活動を行いました。
各施設からの声をお届けします。



生活クラブ→生け花クラブ



ほがらかクラブ→ゲームクラブ



音楽クラブ→カラオケクラブ



すこやかクラブ→運動クラブ

クラブ活動について

今年度よりクラブ活動の名前を変更して、気分新たに利用者様も積極的に参加されています。

生活クラブ→生け花クラブ
季節ごとに素敵な花を2週間に一度、7名の利用者様と生けます。花瓶と水盤を両方準備して、花材に合わせて利用者様が自由に生けて下さいます。玄関や食堂、スロープなどに花を飾り、皆様に見て頂き、通りがかった方に花を飾り、皆様

た方も、作品を作った方もお互いに心が癒され笑顔になります。

ほがらかクラブ→ゲームクラブ
トランプゲーム（ババ抜き、神経衰弱、七並べ）は皆様、ルールが分かりやすく、賑やかに活動できるのです。沢山の方が参加して下さいます。将棋やオセロは一対一の真剣勝負です。勝っても負けても最後は笑顔でお互いの健康を称えます。

音楽クラブ→カラオケクラブ
コロナウィルス感染予防の為、カラオケ活動を自粛していた時期もありましたが、やっぱり歌を唄うのは

気持ち良いです。1曲唄い終わると、マイクを消毒して次の方が唄うように徹底しています。唄う人以外はきちんとマスクを着用して聴いて頂いています。皆様十八番の曲を唄い終わると、スッキリして、笑顔が見られます。

すこやかクラブ→運動クラブ
卓球やキャッチボール、バドミントンなど利用者様のリクエストに応じて、その日の活動内容を決めています。普段は押し車を使用している方もクラブの日は気合十分で、職員にも負けない気持ちで張り切って参加されます。体を動かし汗を掻くと、心も身体もリフレッシュできます。

泉の園



第一号第一様式（第十七条第四項関係）
法人単位資金収支計算書
(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日 (単位: 円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入			
介護保険事業収入	300,985,000	301,008,586	-23,586
老人福祉事業収入	102,818,000	102,820,259	-2,259
保育事業収入	624,939,000	624,948,629	-9,629
就労支援事業収入	88,239,000	88,233,477	5,523
障害福祉サービス等事業収入	785,068,000	785,086,716	-18,716
生活保護事業収入	245,744,000	245,745,610	-1,610
医療事業収入	15,922,000	15,923,582	-1,582
借入金利息補助金収入	86,000	86,850	-850
経常経費寄附金収入	50,000	50,000	0
受取利息配当金収入	556,000	556,463	-463
その他の収入	30,964,000	30,858,339	105,661
事業活動収入計(1)	2,195,371,000	2,195,318,511	52,489
収入			
借入金利息補助金収入	86,000	86,850	-850
経常経費寄附金収入	50,000	50,000	0
受取利息配当金収入	556,000	556,463	-463
その他の収入	30,964,000	30,858,339	105,661
事業活動収入計(1)	2,195,371,000	2,195,318,511	52,489
支出			
人件費支出	1,557,567,000	1,557,524,202	42,798
事業費支出	316,797,000	316,671,478	125,522
事務費支出	122,905,000	122,779,938	125,062
就労支援事業支出	103,089,000	103,062,520	26,480
利用者負担軽減額	822,000	819,956	2,044
支払利息支出	1,042,000	1,041,564	436
事業活動支出計(2)	2,102,221,000	2,101,899,658	321,342
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	93,150,000	93,418,853	-268,853
施設整備等補助金収入	12,035,000	12,040,546	-5,546
施設整備等寄附金収入	3,900,000	3,900,000	0
設備資金借入金収入	100,000,000	100,000,000	0
固定資産売却収入	50,614,000	50,615,400	-1,400
その他の収入	3,132,000	3,132,000	0
施設整備等収入計(4)	169,681,000	169,687,946	-6,946
設備資金借入金元金償還支出	80,450,000	80,450,000	0
固定資産売却・廃棄支出	555,657,000	555,649,381	7,619
ファイナンス・リース債務の返済支出	580,000	579,766	234
その他の施設整備等による支出	14,734,000	14,728,286	5,714
施設整備等支出計(5)	3,272,000	3,272,000	0
施設整備等寄附金収入	654,693,000	654,679,433	13,567
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-405,012,000	-484,991,487	79,979
固定資産売却収入	517,791,000	517,792,296	-1,296
その他の活動収入計(7)	517,791,000	517,792,296	-1,296
積立資産支出	122,725,000	122,721,534	3,466
その他の活動支出計(8)	122,725,000	122,721,534	3,466
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	395,066,000	395,070,762	-4,762
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-10,160,000	3,498,128	-13,658,128
前期末支払資金残高(12)	679,721,275	679,721,275	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	669,561,275	683,219,403	-13,658,128

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）
法人単位事業活動計算書
(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日 (単位: 円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収入			
介護保険事業収入	301,008,586	343,766,120	-42,757,534
老人福祉事業収入	102,820,259	99,757,924	3,062,335
保育事業収入	624,948,629	643,874,392	-18,925,763
就労支援事業収入	88,233,477	104,292,364	-16,058,887
障害福祉サービス等事業収入	785,086,716	775,963,935	9,122,781
生活保護事業収入	245,745,610	255,932,111	-10,186,501
医療事業収入	15,923,582	17,437,016	-1,513,434
借入金利息補助金収入	1,786,558	865,918	920,640
経常経費寄附金収入	2,241,889,780	2,241,889,780	-76,336,363
サービス活動収益計(1)	1,561,161,651	1,381,670,467	-20,508,816
人件費	1,518,324,036	1,324,827,349	-6,033,313
事務費	122,863,938	125,140,635	-2,276,697
就労支援事業費用	107,764,552	104,881,257	2,883,295
利用者負担軽減額	819,956	1,252,122	-432,166
減価償却費	192,209,430	208,474,204	-16,264,774
国庫補助金等特別積立金取崩額	-73,980,465	-78,813,490	4,833,025
徴収不能引当金繰入	23,000	23,000	0
サービス活動費用計(2)	2,229,153,098	2,267,455,544	-38,302,446
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-65,991,447	-25,565,764	-38,033,917
借入金利息補助金収入	86,850	223,768	-136,918
受取利息配当金収入	556,463	994,967	-438,504
その他のサービス活動外収益	30,858,339	30,741,226	117,113
サービス活動外収益計(4)	31,501,652	31,959,961	-458,309
支払利息	1,041,564	1,033,706	7,858
サービス活動外費用計(5)	1,041,564	1,033,706	7,858
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	30,460,088	30,926,255	-466,167
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-33,139,593	5,360,491	-38,500,084
施設整備等補助金収入	12,040,546	14,375,444	-2,334,898
施設整備等寄附金収入	3,900,000	7,250,000	-3,350,000
固定資産売却収入	40,442,395	210,909	40,231,486
その他の特別収益	6,000	6,000	0
特別収益計(8)	56,388,941	21,836,353	34,552,588
固定資産売却損・処分損	207,907,443	30	207,907,413
国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	-29,208,230	-29,208,230	0
国庫補助金等特別積立金取崩額(返還)	-102,292,315	102,292,315	-204,584,630
国庫補助金等特別積立金積立額	12,040,546	14,375,444	-2,334,898
その他の特別損失	95,461,475	95,461,475	0
特別費用計(9)	190,739,759	7,544,634	183,195,125
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-134,350,818	14,291,719	-148,642,537
前期繰越活動増減差額(11)=(7)+(10)	-167,490,411	19,652,210	-187,142,621
当期繰越活動増減差額(12)	2,582,841,693	2,517,527,727	65,313,966
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	2,415,351,282	2,537,179,937	-121,828,655
基本金取崩額(14)	512,799,566	189,531,666	323,267,900
その他の積立金取崩額(15)	117,345,155	143,869,910	-26,524,755
その他の積立金積立額(16)	117,345,155	143,869,910	-26,524,755
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	2,810,805,693	2,582,841,693	227,964,000

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）
法人単位貸借対照表
令和3年3月31日現在 (単位: 円)

資産の部	当年度末	前年度末	増減	負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	872,726,908	889,795,960	2,930,948	流動負債	265,800,659	303,175,853	-37,375,194
現金預金	630,726,116	622,131,178	8,594,938	短期借入金	139,151,869	141,465,898	-2,284,029
有価証券	0	0	0	事業未払金	4,230,384	1,705,500	2,524,884
事業未払金	170,277,040	178,706,239	-8,429,199	その他の未払金	0	0	0
事業未収金(賦劣)	9,610,127	8,921,654	688,473	支払手形	0	0	0
未収金	1,667,976	1,686,075	-18,099	1年以内返済予定固定負債借入金	45,450,000	80,450,000	-35,000,000
未収収益	21,179,955	19,419,909	1,760,046	1年以内返済予定リース債務	12,738,216	12,922,416	-184,200
受取手形	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
貯留品	0	0	0	未払費用	19,452	17,115	2,337
貯留品	0	0	0	積立金	6,205,228	5,214,674	990,554
備品	36,104,172	36,052,038	52,134	預金	3,827,400	4,675,160	-847,760
備品	12,976	12,976	0	預金	0	0	0
備品	293,008	298,008	-5,000	新受収益	0	0	0
前払費用	2,597,568	2,638,968	-41,400	積立金	0	0	0
1年以内返済予定長期貸付金	0	0	0	積立金	0	0	0
短期貸付金	0	0	0	積立金	0	0	0
事業区分別貸付金	0	0	0	積立金	0	0	0
拠点区分別貸付金	0	0	0	積立金	0	0	0
サービス区分別貸付金	0	0	0	積立金	0	0	0
貸付金	0	0	0	積立金	0	0	0
その他の流動資産	-51,000	-57,000	6,000	積立金	0	0	0
徴収不能引当金	0	0	0	積立金	0	0	0
支払戻戻金	0	0	0	積立金	0	0	0
その他の流動資産	5,103,051,773	5,344,516,782	-241,465,009	積立金	11,478,000	11,598,000	-120,000
固定資産	3,431,181,076	3,781,123,797	-349,942,721	敷金預り金	510,330,340	489,951,091	20,379,249
土地	770,177,124	780,350,124	-10,173,000	負債の部合計	510,330,340	489,951,091	20,379,249
建物	2,661,003,952	2,980,773,673	-319,769,721	純資産の部			
構築物	3,077,941	1,169,941	1,908,000	基本金	941,339,123	941,339,123	0
機械	19,140,519	21,322,978	-2,182,459	国庫補助金等特別積立金	1,097,259,937	1,188,682,836	-91,422,899
備品	92,704,837	131,855,547	-39,150,710	国庫補助金等特別積立金	1,097,259,937	1,188,682,836	-91,422,899
積立金	1,650,888	3,266,264	-1,615,376	その他の積立金	616,043,588	1,011,497,999	-395,454,411
器具及び備品	80,917,804	80,381,411	536,393	人員費積立金	123,000,000	176,000,000	-53,000,000
施設整備等	528,285,200	1,285,200	528,000,000	施設整備等積立金	493,043,588	835,497,999	-342,454,411
権利	25,847,208	24,447,096	1,400,112	国庫補助金等特別積立金	123,000,000	176,000,000	-53,000,000
権利	2,619,579	2,619,579	0	国庫補助金等特別積立金	2,810,000,093	2,582,841,693	227,158,400
ソフトウェア	3,511,904	3,424,862	87,042	国庫補助金等特別積立金	2,810,000,093	2,582,841,693	227,158,400
無形リース資産	12,229,726	15,692,724	-3,462,998	国庫補助金等特別積立金	-167,490,411	19,652,210	-187,142,621
投資有価証券	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
長期借入金	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
サービス区分別長期貸付金	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
退職給付引当資産	10,690,783	10,187,134	503,649	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
長期借入金積立資産	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
貸付金積立資産	11,418,900	11,698,000	-279,100	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
人員費積立資産	493,043,588	835,497,999	-342,454,411	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
国庫補助金等特別積立資産	123,000,000	176,000,000	-53,000,000	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
国庫補助金等特別積立資産	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
国庫補助金等特別積立資産	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
国庫補助金等特別積立資産							

八雲・鯉のぼりドライブ外出 (生活介護)



たくさんの鯉のぼりと一緒に

5月下旬、生活介護では、八雲町にある日吉親水公園での川渡し鯉のぼりを見るためドライブ外出をしました。
約1年ぶりの皆での外出。天気も良く、色とりどりの鯉のぼりも気持ち良さそうに泳いでいました。それにも負けない程の、利用者の方々の嬉しそうな顔。普段、口数の少ない利用者も喜びの言葉と満面の笑顔を見ることが出来ました。
久しぶりの外出に、利用者の方々からは、鯉のぼりの数の多さに圧倒されながら、「わあー。すごいね。たくさんだねー」「楽しかったよ」等、様々な声を聞くことができました。
短い時間ではありましたが、これからも、利用者の皆様が楽しみな暮らしを送って頂けるような取り組みをしていきたいと思えます。

新しい力が加わって(クリーニング)



コロナ禍が続く中ではありますが、新規リース品や新規取引先として連絡を下さる所もありました。加えて、今年度、新たに4名の利用者を迎えました。今後の成長に期待しつつ、新しい力を加えた皆で団結して取り組んでいきたいと思えます。
また、好評を頂いている手作りマスク販売と家庭用布団等の丸洗いも行っていますので、引き続きご利用下さいませ。

ただいま(パン)



心を込めて作った季節限定企画商品(ガトーショコラ各種)では非、くつろぎのひと時を。

今年この春、異動にて17年ぶりにナチュラルに戻ってきました。以前のナチュラルとは比べ物にならないほど、規模も大きくなっており驚きの発見が沢山ありました。その中でも、自動販売機でパンを販売している事が一番の驚きでした。それから限定企画商品の販売。以前も行っていましたが、クオリティがかなり上がっており、毎回好評を得ているそうです。(確かにおいしいです)常に新しい事にチャレンジする気持ちと、毎日の利用者の方々の頑張る姿を目の当たりにし、私も心新たに頑張ろうと思えます。
そして、ナチュラルの商品を食べて頂ける全ての方に、「これからも おかげ様、この先も ありがとう」の気持ちを届けます。

相談支援事業所 ねくすと

雑

昨年からの新型コロナウイルス感染症が一年以上経過した現在も沈静化するどころか拡大し続けており、私たちの生活様式に大きな影響を及ぼしています。障害のある人達は健常者といわれる人達と比べ基礎疾患のある人が多いといわれる中で感染防止対策ということだけでなく活動の制限を余儀なくされています。このような状況の中「ねくすと」におきましても様々な面に配慮しながら少しでも利用者並びに家族の方々に理解や協力が得られるように取り組んでいるところです。

さて、平成26年2月に相談支援事業所「ねくすと」が開所してから6年が経過しました。職員も2名から4名に増えたことにより利用者に合わせて幅広い支援ができるのではと考えていましたが、実際は様々な問題点に突き当たり十分な支援ができないことが多々あります。

本来、相談支援は障害種別や手帳の有無、

感

年齢等を問わず、生きづらさを抱えるすべての方を対象とし気軽に相談できる相談窓口としての役割が求められています。そしてそれは行政、福祉、医療、教育等の各分野の専門機関が連携を図り共通認識をもちながら対応することによってはじめて機能していくものと考えています。しかしながら現状はというと各関係機関等の連携が十分になされていないとも言えるかもしれません。各関係機関がもつとお互いに共通認識をもって協力しながら対応していくことで初めてその機能が果たされるものと考えています。

「ねくすと」としましてはこれからも各関係機関への働き掛けを継続して行うと同時に、今まで以上に利用者並びに家族の方々に寄り添った支援を心掛けながら取り組んでまいりたいと思っています。



コロナ禍での憩いの時間～平田観光農園にて～

昨年からの話題と言えばコロナウイルスで、日本中が翻弄されそれぞれの私生活も脅かされながら戦々恐々と過ごしてきたことかと思えます。その中にあることもコロナ感染の落ち着いた合間を狙い、サクランボ狩りとバーベキューを楽しむことが出来ました。利用者と職員合わせて25名程で貸し切り観光バスにてマインスイオンと癒しを求め、広島県三次市にある平田観光農園に行ってきました。

日頃、イベントや行事がコロナ対策として縮小され参加できなかつたこともあり、ストレス発散の機会としても良かったのではないかと思います。道中、道の駅たかのでショッピングや軽食を楽しみながら現地に着し



「美味しく焼くからまってねえ～、まだかな?もっとゆっくり食べて～」



「こっちのサクランボの方がおいしいぞお～」



「みんな!美味しいサクランボをたくさん食べるぞ!!」

ました。昼食はほぼ貸し切りのバーベキュー会場にてテーブルごとに分かれ、アルコール消毒やマスク対応をしながら肉や野菜を堪能し、森林の中で雰囲気も楽しめました。満腹になった一行は、休む間もなくサクランボ狩り会場まで歩いて移動し、約30分のサクランボ食べ放題に挑みました。「こっちの方が甘い、こっちの方が酸味があつておいしい」など教え合いながら、バーベキューで満腹のはずが、皆さんそれなりに5種類のサクランボを選び取り、頬張りながら笑顔で過ごしておられました。

それぞれに感じてもらえた様子で、企画した職員もほっとしました。帰り道で再度、休憩場所の道の駅たたらば壺番館にてアイスクリームを楽しむ方もおられました。バスの乗車席も隣同士にはならない様に距離を開けたり、検温・体調確認を行ないながらの対応はいつまで続くか分かりませんが、気持ちにゆとりをもたらし続けてくれる有意義な時間はどのような形であれば必要な事であると感じました。

就労継続支援 A 型事業 ワークセンター 島根

近年のコロナ禍の中、皆さんの職場でも働き方が変わってきているのではないのでしょうか。

2019年の年末から新型コロナウイルス感染症が世界で流行し始めました。その流行し始めた3か月前から私はワークセンター島根で働き始めました。

その頃はまだ今のような状況になることなど夢にも思わず支援員という新しい挑戦とレターファイルの製造に悪戦苦闘しておりました。

レターファイル部門で扱う機械の操作についてはなかなか覚えることができず、何度も何度も教えていただいたことを今でも思い出します。

松江で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されたから一年が経過しましたが、私が働き始めたころと今とは大きく変わりました。

職員・補助員・利用者が安心して働ける職場づくりの一環として毎朝検温をして体調を確認しています。

そして、どんなに暑い日も終日マスクを着用し作業をしています。夏はとて

安心して働ける職場作り

暑く息苦しさを感じます。時には気分不良を訴える方もあり都度休憩して作業をして頂きました。今はマスクが当たり前になっていきます。その他、職員は定期的にスイッチなど皆さんの手に触れる場所を消毒しています。利用者の方々も窓を開けるなど換気も進んで行っています。また、ハンドソープ、アルコールを各所に設置し手洗い、消毒をこまめに行う、周りの人と一定の距離を保つ、食堂でも密にならないよう部屋を別れるなど様々な対策を行っています。

月初めの全体朝礼も一年以上行えておりません。利用者様には休み中も感染予防のお願いをしています。様々な変化に最初は戸惑いもありましたが、こういった事が感染もなく一年が過ぎたことにながっていると思います。そしてこれからもマスクが外せる日が来るまで引き続き感染予防対策を行いながら今は我慢の時と職員、補助員、利用者が一丸となり頑張っていきたいと思えます。



Withコロナ 里での暮らしを快適に

新型コロナウイルスの影響が全世界に広がり、「新しい生活様式」や「新しい日常」との言葉が使われるようになりました。ソーシャルディスタンス、3密を避ける、在宅勤務といったコロナを強く意識した生活を送るようになっていきます。

光洋の里でも、新型コロナウイルスを持ち込まないために、一丸となって予防策を講じています。令和2年10月9日には、鳥取県の担当者と感染症認定看護師に来里して頂き、「現地指導」という形で最新の予防策を学びました。光洋の里で予め講じていた予防策を、専門的な視点で検証して頂き、ゾーニング方法の修正など、丁寧な指導を受けました。光洋の里の対応策は、充分に考えられた内容とお褒めの言葉を頂戴しましたが、この言葉に甘んじることなく、有事に備えています。この現地指導をより深く実践的に実行するた

め、令和3年1月27日には、机上訓練を行いました。発生した場合の対応をフロアチャート式に分かり易い形にして、職員が動き易い方策を取ろうと努めています。また、一部の居室への陰圧装置の導入や、全居室のベッド周辺にオゾン発生装置を置き、体制を整えています。

そんな中、なかなか外出等ができない利用者さんのストレスも溜まっています。コロナだから「できない」ではなく、どのような注意や工夫をすれば「できる」が増えるのか、を考えたいです。嘱託医師の助言を参考にしながら、対策が出来れば、外出が可能であり、利用者さんの笑顔が取り戻せる、との考えに至りました。多少の制限は設けざるを得ませんでしたが、今では、希望された利用者さんと一緒に、ドライブ外出を再開しています。参加された利用者さんの笑顔は、本当に輝いています。

まだまだ、新型コロナウイルスの影響は収まりませんが、利用者さんのために「できる活動」の幅を広げて参ります



感染防止に配慮した外出風景



陰圧装置



エアネスS (オゾン発生装置・全ベッド周囲に設置)



新型コロナウイルスの感染予防等に係る現地指導



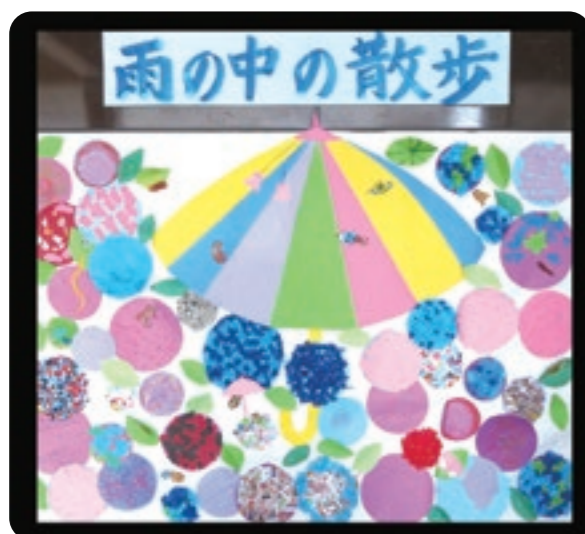
生活介護事業

さざなみ

新型コロナウイルス感染が拡大する中、さざなみでは、職員一人一人が感染予防に努め、施設内にウイルスをもち込まないよう、自覚をもって行動しています。この状況の中、利用者へのサービス低下につながらないよう、利用者に対して今何ができて、施設でどのように過ごしていただくのが一番よいのか、度々職員で話し合っています。

そこで、今年度は、今までの創作活動を見直し、その人らしさが表現できるような題材を選択し、季節感を味わえるような内容を考えています。先月は、「雨の中の散歩」と題して、みんなで壁画を作りました。制作段階では、紙粘土や折り紙、色鉛筆、広告、新聞紙などを材料にし、描いたり、切ったり、ちぎったり、丸めたり、伸ばしたりと、一人一人の思いを大切に、その人なりの表現方法で紫陽花の花や葉、かたつむり、かえるなどをづくり、台紙に貼り合わせました。自分の思いを表現することで、達成感や感動を味わうことができ、その喜びが自信につながるかと考えています。また、そ

みんなの心のリハビリ



6月の壁画：「雨の中の散歩」(共同制作)

れが他の利用者や職員とつながり、信頼関係を築くことになれば幸いです。そして、創作活動が心配や不安などで弱くなりがちな心のリハビリの一助になればいいなと思います。さざなみの利用日や利用日数は、利用者によってちがいますが、利用の際にはさざなみが温かい雰囲気の中、家族のような存在、心の交流が図れる「さざなみファミリー」でありたいと切に思います。



壁画作りの光景：パーツを作ったり、できたパーツを貼ったり・・・

看取り ～ご家族の想い～

お一人目は、
『東京在住。コロナ禍のため面会をしていたく事が出来ず、お父様の最期にも立ち会っていただくことが出来なかった息子様の想い』
～金津繁保様 長男様～
コロナで面会も叶わないままとなってしまうましたが、生前、まだしっかり話せる状態の時に父とはじっくり話が来ておりました。

お二人目は、
『自由奔放、波乱万丈の人生を送られたお母様と最期を共に過ごす事が出来、嫌いだつた昔の事が思い出せないわ』と話されていた娘様の想い』
～野津喜久子様 次女様～
平成二十六年、認知症が随分と進み行き場を失った母がたどり着いた場所は、『詔光の里』でした。

特別養護老人ホーム 詔光の里

詔光の里では、ご本人様、ご家族様の意思を尊重し、施設での「看取り」を行っております。

昔、自宅で看取っていたように施設でも平穏な最期を迎えて頂けるようにご家族の想いに寄り添った対応をさせて頂いております。

今回、四十九日を迎えられた二名のご家族様に、故人様を偲び原稿をお願いさせていただきましたのでご紹介を致します。

お一人目は、

早朝亡くなったとの連絡をいただいた時は、ついにその時が来てしまったか…という感じでしたが、早朝の担当の方に身体を拭いていただき、気持ちよく寝入った状態のまま静かに息を引き取っていたように伺い、苦しんだりしないで穏やかに逝ってくれて良かったなと…。最後に身体を拭いて下さった方をはじめ、日々面倒をみて下さった方々への感謝の気持ちでいっぱいになりました。
そして、お寺様に安置された父の顔は、心なしか笑ったような顔をしておりました。詔光の里の皆様、本当に良くしていただきありがとうございました。

これからも、「詔光の里で最期を迎えたい」というご本人様の意思とご家族様のお気持ちを大切に、「詔光さんで、良かった」と言って頂けるような生活を送って頂きたいと思っております。

病院で処方された薬を飲んで廃人のようになっていた母でしたが、詔光の里に入所してからはしっかりと見守っていただいたからでしょうか、薬を飲まなくても良くなり改善されました。亡くなる一年前から浮腫が出て、危ないと言われながらも施設の皆様の手厚い介護で、過ぎてみれば六年半詔光の里で過ごすことができました。
最期の時も、私と職員さんとで看取ることができました。私がきつと母も望んでいた、清潔で穏やかな日々を皆さまのお力で実現していただき感謝でいっぱいです。
享年九十三歳、良い終わり方ができたと思えます。本当に、本当にありがとうございます。

こころも脳もリフレッシュ!!!



脳トレ教室メンバー 今日もしっかり脳活性化(^^)/

の参加者お一人おひとりへの声かけで、皆さんの表情も生き生きとして来られます。「いやあー難しかったなあ」「脳が鍛えられるわあ」「同じことでも覚えられないよー」など、参加者の皆さんが笑顔で感想を伝えられます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の終息はまだ見えない状況で、入居者の皆様、親族様、職員、関係機関一丸となつての感染症予防対策の取り組みを継続しています。入居者の皆様の中には面会や外出を控え施設内だけの生活の方もおられ、行事やクラブ活動についても感染症予防を行いながらの実施となつ

ています。
その活動の一つ「脳トレ教室」をご紹介します。自立状態の方を中心に、職員が工夫を凝らしたゲームや歌を一緒にしています。参加メンバーは10名くらいで、月2回のペースで行っています。
「ニコニコ体操」ではリズムに乗って指体操をしますが、速さやリズムが変わると難しくなり笑いに包まれます。手遊びや懐メロを歌うことで脳が活性化され、担当職員からの参加者お一人



ニコニコ体操 「ニ・コ・ニ・コ パンパンパン (手拍子)」

夢楽の郷では他にも、書道の会・ぬり絵の会・カラオケ会・上映会・手芸の会・転倒予防教室・暖楽体操教室と色々な活動があります。コロナ禍において、入居者の皆さんの貴重な時間が少しでも実りあるものであつてほしいと願い、職員一同工夫してお手伝いしていきたく思っています。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大という誰も経験をしたことの無い年となり、緊急事態宣言や営業自粛要請など毎日の様にニュースで聞かれました。そして、私たちの身の周りでは、新しい生活様式が求められ、「3密」「ソーシャルディスタンス」「テレワーク」等、聞きなれない言葉が頻りに聞かれるようになりました。このコロナ禍の影響で「デイサービスきらめき」でも、様々な変化を受け入れていく事となりました。特に感染予防の観点から、事業規模や行事の縮小、アクリル板の設置、利用者の座席の間隔を空ける等。

この様な状況下では、今までアットホームな雰囲気でご利用



満開の桜で開放感



今年は鯉のぼり作り

変化を受け入れて見出す

者と職員の近かった距離が保てず、密接にかかわる事が困難となってしまっています。しかし、ご利用者との楽しい時間を過ごしてみて、新たな価値観が見つかったり、大切なものを再確認する事ができたり、心が豊かなデイサービス生活を送る事の大切さがこのコロナ禍でもとても重要であることが分かりました。コロナ禍以前のような接し方ができるまでは、当分時間が掛かるかもしれませんが、今、この時を大切にしていきたいと思えます。

「最期まで自宅で過ごしたい」。この思いは多くの方が思っている事でしょう。

ねぎらいのご利用者の1/3の方は、ご自宅での独居生活をされています。

Aさんは慢性心不全、呼吸不全により在宅酸素を使用されており、薬の飲み忘れもある為、病状の管理が困難になってこられました。はたから見ると施設入所が望ましいように見えるかもしれませんが、しかしご本人は「長く生きるより、自分のしたいように自宅で自由気ままに最期まで過ごしたい」と仰います。

私たちが目指す支援

「最期まで自宅で過ごしたい」と仰います。市内に住むの妹さんは「これのどこが自立してるの!？」と、安全安心な施設入所を望んでおられますが、ご本人はまだまだ自宅生活を望まれています。それでも訪問看護、訪問介護、デイサービス利用と少しずつサービスを切り入れ、住環境も時間をかけて整備し、生活リズムも整ってきました。

ご利用者やご家族がどのような最期を迎えたいと望んでいるかを考えながら、心身や生活状況を把握し、寄り添っていくことが大切なのだと思います。これからも多職種との連携を密にし、それぞれのご利用者の思いを描く「最期」に近づけるお手伝いをしていきます。



「今日のお昼ごはんは、何にしましょうか?」

訪問看護ステーション 暖心

1年半前、鳥大病院を退院する時紹介されたのが「暖心」の訪問看護師さん達との出会いです。思いがけない大手術。退院後驚くほど体力が落ちとても不安でした。

初めてのストーマ装着。度々ハプニングが起こったり、体の異常を感じたりでパニックになる事も多々。暖心へ電話すると、看護師さんがすぐ駆けつけ、手当や助言、時に日赤病院受診の手続ききをしてもらったりと、適切な対処をしてもらってとても心強い存在でした。

週2回

の訪問時には、些細な事でも相談したり、おしゃべりを聞いてもらった



四季折々の思い出を筆にこめて

うれしい出会い

りと元気をもらっています。子供達も「看護師さんの訪問で安心」と喜んでいきます。我が家は超高齢の二人暮らし。子供達や訪問看護師さんの力を借り、私なりに頑張ろうと思う昨今です。

居宅介護支援事業所 ナイス

ナイスではそれぞれのケアマネージャーがご利用者を担当させて頂いております。定期訪問は欠かせない仕事の1つで、市内を西へ東へ、気がかりなお宅へはこまめに伺うこともあります。ご高齢者の住まいは多様化しており、高齢者向け施設や1人暮らしの方のご自宅など、訪問先も様々です。コロナ禍では感染予防対策をしっかり行い、時には玄関で、時には短時間で、など可能な方法でご利用者の状態把握に努めています。

先日の訪問先で「なにげないおしゃべりが簡単にできなくなつた」と話されるご利用者がいらつしゃいました。外出や人と集まる機会が持ちづらい状況が続くため、ご利用者の心身に悪い影響がないか気になることがあります。そんな時にはご家族や身近な支援者に状況を

ご利用者と支援者をつなぐ

確認したり、解決策が必要であればご利用者や関係者と共に考えたりするのですが、色々お聞きしたところ、生活全体としてはお変わりなくお元気で、サービス事業所等の支援者との関わりも上手くいっているご様子が言葉や表情などからも窺え、この日はたくさんお話して帰りました。別の訪問先では「デイサービスで花見に行き良かったよ」「落ち着いたら面白い物に行きたいからリハビリ頑張ります」といったお話を聞きすることもありました。

日々の訪問の中で何う良い反応もそうでないことも支援者と共有すること、ご利用者とご家族、支援者を繋ぐこともケアマネージャーの大切な役割として、これからは笑顔を忘れず支援していきたいと思えます。



どの動きがどの年齢発達に合っているか確認しています。



年齢によって高さ、幅などを調節します。



「よいしょ、よいしょ・・・」バーに当たらないように慎重に通ります



「おとうさん しゃぼんだまだよ みてて」

今後、現状を受け入れ、対策を取りながら「できる」方法を見出し、子どもがいきいきとした園生活が送れるよう、また、保護者が安心して預けられるよう、職員で検討しながら保育をすすめていきたいと思えます。

保育園の行事の見直し

「保護者に寄り添うために・・・」
 コロナ禍により保護者との関係づくりがしにくい状況になっている。昨今、保護者が求めているニーズ（子どもの保育園での様子が知りたい、見たい等）に変わりはありません。

昨年度からの新型コロナウイルス感染症の終息が見えないなかで、感染症対策に取り組みながら日々、保育を行っています。コロナ禍二年目を迎え、昨年、中止した行事について、「コロナ禍だけ、できることを、できる形を考えてみよう」と、職員で話し合いながら保育をすすめることにしました。

そこで、日時をずらして保育参加・参観が行ったり、人数制限をしながら三日間のフリー参観日を設けたりしました。また、個別面談も一日少人数、短時間で行うようにしています。参観後、または面談後、保護者の方から「久しぶりに園での子どもの姿が見れて安心しました」「悩んでいたけど、先生の話や子どもの姿を見てホッとしました」などの声をいただきました。また担任保育士も、短時間でも保護者の方と話す機会があることで、保護者との距離が縮まり気持ちが少し楽になったとの声もありました。

このように感染対策を行いながら、できる範囲で保護者の方と接する機会を設けたことで、保護者、職員とも少しずつ蓄積していた不安を取り除く一環となったように感じます。

「園内運動あそびを充実しよう」
 外部講師の方に三歳以上児が運動の基礎を教えてもらう「運動あそび」も今しばらく中止の状況が続いています。そこで、従来の「運動あそび」同様、月2回「園内運動あそび」の日を設けて担任を中心に取り組んでいくことにしました。子ども達は、毎日元気一杯体を動かして遊んでいます。が、「運動」として捉えて取り組まないと、全身の運動機能の発達は促せません。私達は、子どもの運動機能の発達について再確認し、その発達を支えていくために、どのような補助用具を使うと良いか等、話し合いました。親子で作った布縄跳びや缶ポックリに加え、様々な体の動きが楽しめるため、二人組以上になって、友達と一緒に体を動かすことが楽しめたりする「運動カード」などの用具を使い、年齢を追って身体機能を高めていけるよう取り組んでいます。

「運動」を楽しく経験できる時間を充実させることで、子ども達は「運動あそびの日」を楽しむに、体操服を着て張り切って登園する姿が見られるようになりました。

今後も現状を受け入れ、対策を取りながら「できる」方法を見出し、子どもがいきいきとした園生活が送れるよう、また、保護者が安心して預けられるよう、職員で検討しながら保育をすすめていきたいと思えます。

しらゆり第2保育園



♪「ハッピーバースデートゥユー」歌いながら丁寧に洗っています

しかし、子どもたちが楽しんでいる『夏祭り』はなんとかできる形を工夫しながら行いたいと思いい、保護者会役員の皆さんとも協議し、例年は

2020年4月、新型コロナウイルスへの感染が市内でも確認され、緊急事態宣言が発令されました。
 未知な感染症であるだけに「大変ことになった」「不安だ」という思いが募り、健康管理、三密を避ける、手洗い・消毒を徹底するなど基本的な予防策を怠らず行いました。大きいクラスの子も達を中心に「ハッピーバースデーの歌を2回歌んだよね。」と言いながら丁寧に洗ったり、「○○さん、爪の中まできれいに洗ってね。」と友達に知らせたりしながら手洗いが習慣づいていきました。幼い子どもたちなりに「コロナはこわい病気なんだ」という意識をもち、自分たちでも何とかかからないようにしようとする姿には驚かされました。

一方で例年行ってきた保護者参加の保育参観や遠足などは当面中止することにしました。

こどもたちの笑顔のために～コロナ禍のなかでの保育園～

広い廊下に動きがとれないほどの人々が集い、親子で一緒に楽しむ夏祭りですが、今回は保護者と子どもだけで行う祭りにするにしました。子ども目線で考え、子どもたちが主体となって参加できる形として、あてくじや魚釣り、ゲームコーナーなど数か所の遊びのコーナーを友だちと一緒にまわって楽しめる形にし、3歳未満児さんは保護者と一緒に回って楽しむことにしました。また、給食と連携し「焼きそば、カレー、サラダバー、ドリンクバー」などをショッピングセンターのフードコートのように見立て食事ができるようにしました。当日は浴衣や甚平さんを着てニコニコ嬉しそうなお子もたち。どの子どもとも、いきいきして楽しい夏祭りとなり、開催して良かったとつくづく思いました。

また、運動会では、狭い体育館での開催を見合わせ、園庭で行うことにしました。園庭にある鉄棒や雲梯等も競技に取り入れ、サーキットを構成することで、慣れた環境の中でのびのびと体を動かして楽しむことができました。園で行う運動会は無理がなく一人一人をじっくり待つことができ、子どもたちは持てる力を発揮しながら頑張ることができたように感じました。運動会も職員と子どもたちで行ったので、保護者さんからの希望により当日の様子をビデオ撮影してもらい、保護者さんにはそのビデオを通して運動会の様子をご覧いただきました。

年度末の生活発表会は、コロナも落ち着いているので保護者の方に一年の成長を見ていただきたいと思いい、基本的な予防策を講じ、発表時間を短縮し、ずらしながらひとクラスごとに行いました。保護者の方からは「大変な時に開催してもらって嬉しかった」「久しぶりに園での子どもたちの様子が見れて良かった」などの声をいただきました。

今年度に入ってもなかなか収束の目途がたないこの感染症ですが、その時その時の状況を見ながらできることをできる形で行おうと考えています。昨年度中止にした親子遠足はひとクラスごとに園児と職員でバスに乗って出かける園外保育に、春の保育参観もひとクラスごとの親子活動として木馬づくりや缶ポックリづくりを計画しています。感染者は絶対に出さないという信念のもと、保護者の皆さんのご協力をいただきながら、子どもたちが保育園に行くのが楽しい！今日も保育園に行きたい！と思ってくれるような保育園でありたいと願ひ、これからも歩んでいきたいと思ひます。



ドリンクバー!どのジュースにしようかな?



的当てゲーム!水鉄砲でねらうよ!



園内職員研修会の中で、園長が講師となり、SDGsの一部、目標1「貧困をなくそう」、目標2「飢餓をゼロに」、目標6「安全な水とトイレを世界中に」について話をさす。それを聞き取っていき、職員のみで

最近メディアで、SDGsという言葉をよく耳にします。『SDGs(エスディージーズ)は持続可能な開発目標です。2015年のサミットで決定され、国際社会共通の目標として2030年までに達成すべき17の目標が掲げられています。』
その内容は、貧困や飢餓、経済成長、気候変動と言った現在世界が抱える問題に対するものです。SDGsとは「これからの世界をよりよくするための目標」と言えます。
17の目標がさらに具体的に示されているのが、169のターゲットです。その中には、差別をなくすことや資源を大切にすることなど、日常生活レベルの内容や子どもと一緒に考えたい内容がたくさんあります。
しらゆり千鳥保育園では、その一部でも未来を生きる子どもたちと共に考え、実践していきたく取り組みはじめました。
きっかけは、4月の園内職員研修会の中で、園長が講師となり、SDGsの一部、目標1「貧困をなくそう」、目標2「飢餓をゼロに」、目標6「安全な水とトイレを世界中に」について話をさす。それを聞き取っていき、職員のみで

しらゆり千鳥保育園

しらゆり第3保育園

今年度始まって間もなく、地域の方から「使っていない土地があるんだけど、芋畑でもしない？」と、声をかけていただきました。場所は、保育園から0.7キロ北へ、徒歩15分。矢田公民館前、元黒田医院裏手。100坪以上もある土地でした。年長児と散歩に行くと、「わあ、広いねー。」「ここ、僕たちの畑になるの?」「凄い!広い!やったー!」と、歓声があがりました。子ども達の喜びと期待に溢れた表情に、地域の方のご厚意をお受けすることにしました。
まずは土壌整備。子どもと一緒に「畑仕事」を目的に散歩に行き草取り。空いた時間を使って耕運機で土を耕し、土作りをしました。
5月。連休明けの金曜日、次の日に畝を作ろうと土と肥料を畑に持って行ったところ、地域の方が出てこられ、「明日、畝作るなら、一緒に手伝ってあげるけんね。」と有難い言葉をかけていただきました。そして、土曜日の朝、地域の方が、道具を持参して3人も畑作りに来てくださっていました。地域の方のお力で、あつという間に「畑」になりました。
次の月曜日、子どもと一緒にマルチをはりに行くと、また地域の方が出てきて下さいました。マルチの貼り方、穴のかけ方と、「こうしてす

地域の方からの贈り物『にじいろばたけ』 ～温かい見守りに感謝して～

「こうして、苗を植えるよ。」と子どもに優しく教えて下さいました。子どもの声が聴こえると、職員の方が見ると、地域の方とんで出てきて下さっています。
昨年度から、新型コロナウイルス感染症の目に見えない恐怖に怯え、いろいろなことが制限されています。地域の合同夏祭りの中止、園内での柏餅つくりや敬老お祝い会等での地域の皆さんとの交流自粛もその一つです。この「畑」を通じた地域の皆さんの温かい見守りに安心感でいっぱいになりました。
子ども達が、この畑を「きらきらしている!」「ワクワクする感じ!!」と、『にじいろばたけ』と命名し看板を設置しました。この『にじいろ

未来のために子どもたちとできること ～しらゆり千鳥保育園 SDGsの取り組み～

学んでいても意味がない。子ども達にも、可能な形でSDGsについて伝え、学びの機会を持ちたいという思いを持ったからでした。以前から、一度切つて食べた豆苗を水栽培し、繰り返し食べたり、食物の皮干してジャムにしたり、食材を無駄にしない取り組みは、あかゆりを中心に行っていました。それが、このSDGsとどう結びついていくのか?を知っていく必要があると思いました。そこで、身近な絵本を使って学ぶことで、園の生活の中で出来る事を子ども達と考えていきました。
保育園で取り組んでいるSDGsの一部を紹介します。
1 絵本で学ぶSDGs
わたしがわかるくらいもかわるSDGsはじめてのいつぽ(作・原琴乃 出版社 汐文社)を使い、子どもたちに伝えやすいテーマをもとに、話をしていきます。
2 摘んだヨモギでヨモギ団子を作る。
今日のおやつはお団子。そこで、保育園の近くにあるヨモギを摘みに出かけました。これを



キラキラ・わくわく・僕たち私たちの『にじいろばたけ』



「ばたけ」を懸け橋に、地域の皆さんと出会い、触れ合い、多くの経験を通して、喜び、発見し、たくさん学びがあると期待しています。もちろん、甘くておいしいお芋の収穫も!! 収穫の喜びを、地域の皆さんと一緒に実感できるような企画を子ども達と考えたいです。
地域の方からの温かい贈り物。感謝の気持ちを忘れずに、地域の中で『にじいろばたけ』を守っていきたいと思います。



いつもありがとう!!

お水、あげといたよ!!

地域のみなさんの温かい見守りに感謝!



絵本を見た後の振り返り「みんながしているSDGsっていっぱいあったね!どんなことをしてたかな?」



おやつのお団子に僕たちが摘んだヨモギを使う!



知事室での伝達



平成16年4月29日 瑞宝単光章受賞



祝賀会



雑祭りお茶会



お点前



レタスの収穫



著書

國頭正巳初代理事長を偲んで



しらゆり会初代理事長 國頭正巳が令和三年二月に逝去いたしました。

大正十五（一九二六）年四月五日、鳥取県淀江町（現 米子市）に生まれ、旧制米子中学（現 米子東高校）を卒業後は飛行予科訓練生を修了。大分県の大分航空で終戦を迎え、淀江町に帰還。

昭和二十六年、松江市で珠算教室を開塾したのを最初に、その後は社会福祉法人しらゆり会を創設し、保育園など十八事業を経営。

仕事では頑固で厳しい面もありましたが、ひ孫と接するときなどは穏やかで優しくなると聞いています。

茶道をたしなみ、裏千家で「宗正」という茶名を襲名。

保育園などでお点前を指導したり茶器を自ら製作したり、我流ながら書道にも親しんだりした姿が思い出されます。

悲しみは尽きませんが、職員一同、國頭正巳初代理事長の思いを受け継ぎつつ、社会福祉に貢献していく所存です。